

日本歯科医学会

第111回臨時評議員会 議事録

日時 令和5年9月27日（水）

日本歯科医学会第 111 回臨時評議員会議事録

- 日 時 令和 5 年 9 月 27 日 (水)
午後 2 時 00 分開会、同 3 時 02 分閉会
- 場 所 東京都千代田区九段北四丁目 1 番 20 号
歯科医師会館 801・802 会議室
オンライン (Zoom 開催)
- 出席者 評議員 歯科基礎医学会 大島勇人 外 58 名
役 員 学会会長 住友雅人 外 29 名

○会議の成立

○天野総務理事 大変お待たせいたしました。定時になりましたので、第 111 回臨時評議員会を開催させていただきます。

評議員の先生方におかれましては、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、仮議長が選出されるまでの間、私、総務理事の天野が司会・進行役を務めさせていただきます。

最初にご案内申し上げますが、6 月 2 日開催の第 110 回臨時評議員会におきまして、本学会会長に住友雅人先生が選出されました。その際、事前承認されましたことが 2 点ございます。学会副会長の選任にあたりましては、学会会長から指名のありました先生を充てさせていただきます。また、学会理事の選任におきましては、学会会長、専門分科会ならびに日本歯科医師会会長からご指名いただきました先生を充てることになっております。

本日は、ご指名いただいた先生方のご紹介を後ほど行うことになっておりますので、お含みおきください。

早速、会議を進行していきたいと存じます。お手元の日程に従いまして、氏名点呼を行いますが、この氏名点呼をもちまして評議員の先生方のご紹介に代えさせていただきますと思います。ご自分のお名前を呼ばれました際には、大変恐縮ですが、ミュートを解除していただきまして、一言自己紹介のご発言をしていただき、ご発言終了後は再度ミュートに設定いただきますようお願いいたします。

これより氏名点呼を行います。事務局、点呼をお願いいたします。

(事務局氏名点呼)

○事務局 ご報告いたします。評議員総数 68 名中、出席評議員 58 名、欠席評議員 10 名、以上でございます。(※最終的な評議員出席者は 59 名)

○天野総務理事 どうも評議員の先生方、ありがとうございました。

ただいまご報告がありましたように、評議員総数 68 名中、出席評議員 58 名、欠席評議員 10 名でございます。したがって、日本歯科医学会規程第 15 条第 1 項により、本評議員会は成立いたしました。

また、本日、予備評議員の先生方をご出席されておられます。お名前を読み上げます。3 番、菅谷 勉評議員、28 番、讃岐拓郎評議員、38 番、平野浩彦評議員、55 番、近藤誉一郎評議員、以上の方々は事前に通知があり、事務手続が済んでおりますことをご報告申し上げます。

○開会の辞

○天野総務理事 それでは、日程に従いまして、「日程 1. 開会の辞」を小林副会長をお願いいたします。

○小林副会長 先生方、本日はお忙しいところ、第 111 回の臨時評議員会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。今回の会議の議事につきましては、第 1 号議案であります今後の評議員会の運営に重要である議長・副議長の選出となります。このご審議についてお願いをするところでございます。また、報告につきましては、その他の項目も含め 6 項目について、タイムスケジュールに合わせ 15 時 15 分ごろを終了の目標に進めてまいりたいと思います。

それでは、開会とさせていただきます。ご協力よろしくお願い申し上げます。

○天野総務理事 小林副会長、どうもありがとうございました。

○仮議長の選出

○天野総務理事 続きまして、「日程 2. 仮議長の選出」でございますが、執行部にご一任いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○天野総務理事 それでは、特にご異議ないようですので、こちらから指名させていただきます。慣例により、日本歯科医師会選出で在京の先生をお願いしたいと思います。59 番、

東京地区の井上恵司先生に仮議長をお願いいたしたいと存じます。井上先生、どうぞよろしくお願いいたします。

○仮議長（井上恵司君） ただいまご紹介いただきました日本歯科医師会東京地区選出の井上でございます。

それでは、ご指名でございますので、暫時、仮議長を務めさせていただきます。評議員の先生方のご協力を賜りまして、議長が選出されるまでの間、円滑に会議を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議事録署名人の指名

○仮議長（井上恵司君） それでは、「日程 3. 議事録署名人」を指名させていただきます。51 番、上野俊明評議員、60 番、北村 晃評議員、以上の 2 名の評議員の先生方をお願いいたします。よろしく申し上げます。

○日程の変更

○仮議長（井上恵司君） ここで、議場にお諮りしたいと思います。日程では「4. 挨拶」となっておりますが、新しい議長のもとで行っていただくということで、日程を一部変更いたしまして、「日程 7. 議事」に入り、議長および副議長の選出を行いたいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○仮議長（井上恵司君） ご異議がないようでございます。日程を一部変更いたしまして、「日程 7. 議事」に入り、議長および副議長の選出を行います。

○議事

○第 1 号議案 評議員会議長および副議長の選出に関する件

○仮議長（井上恵司君） 「第 1 号議案 評議員会議長および副議長の選出に関する件」を議題といたします。提案理由の説明を天野総務理事よりお願いいたします。

○天野総務理事 それでは、「第 1 号議案 評議員会議長および副議長の選出に関する件」についての提案理由をご説明申し上げます。

この議案は、日本歯科医学会規程第 13 条第 3 項、「評議員会の議長および副議長は、評議員の中から互選し、任期は第 12 条第 2 項を準用する」の規定に基づきまして、評議員

会議長および副議長の選出を行うものであります。また、第 12 条第 2 項は読み替え規定として、「評議員会議長の任期は 2 年とし、選任された年の 7 月 1 日に始まる」と定めております。

以上、提案理由の説明を終わります。

○仮議長（井上恵司君） ただいまの執行部からのご提案でございますが、評議員会議長および副議長の選出につきましては、評議員の互選でお願いするとのことでございますが、いかが取り計らえばよろしいでしょうか。ご意見のある方は、議席番号と氏名を告げて、議長の許可を得てからご発言ください。なお、ご発言の際に対しましては、ご自身のパソコンのミュートを解除のうえ、ご発言いただき、ご発言終了後は再度ミュートに設定いただきますようお願いいたします。

○村上評議員 20 番、村上です。

○仮議長（井上恵司君） 村上評議員、どうぞ。

○村上評議員 私としましては、これまで副議長を務められて、議事運営に豊富な知識と経験をお持ちでいらっしゃいます、日本口腔インプラント学会ご選出の築瀬武史先生を評議員会の議長にご推挙させていただきたいと思っております。また、副議長の選出に関しましては、その議長に一任するというご提案申し上げます。

以上です。

○仮議長（井上恵司君） ありがとうございます。ただいま、村上評議員より、築瀬武史先生を議長にご推挙し、副議長の選出につきましては議長に一任という旨のご提案がございましたが、ご異議ございませんか。ご異議や他の意見がある場合は、議席番号と氏名を告げてご発言ください。

（「異議なし」の声あり）

○仮議長（井上恵司君） ご異議がないようでございますので、築瀬武史先生を評議員会議長として決定させていただきます。また、副議長の選出につきましては、議長に一任するというご決定いたしました。

それでは、ここで築瀬議長と交代をいたします。評議員の先生方、円滑なる議事運営に格段のご協力をいただき、誠にありがとうございました。築瀬先生、お願いいたします。

○議長（築瀬武史君） 評議員の先生方、ただいまご指名を賜りました築瀬でございます。一言ご挨拶申し上げます。

まず、仮議長をお務めいただきました井上先生、ありがとうございました。感謝申し上げ

げます。

このたび、名誉ある評議員会議長として皆様方よりご推挙賜りましたこと、誠に光栄に存じます。責任の重さを一層痛感しておりますが、ここに皆様のご推挙を受けましたからには、日本歯科医学会の発展と、歯科医療・歯科医学の進歩向上に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。評議員の先生方、また執行部の先生方のご理解とご協力をいただきまして、評議員会の議事運営を円滑に進めてまいりたいと存じます。今後とも皆様方のご指導とご鞭撻をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

では、副議長の選出ですが、議長一任をいただいておりますので、僭越ではございますが、議長より副議長を指名させていただきます。私が臨床系ですので、副議長にはぜひ基礎系の評議員の先生にお願いしたいと思っております。歯科基礎医学会選出の大島勇人先生に副議長をお願いしたいと存じます。

それでは、大島先生、一言ご挨拶をお願いいたします。

○副議長（大島勇人君） ただいま築瀬議長よりご指名いただき、また、評議員の先生方よりご承認賜りました大島でございます。評議員会副議長に選ばれましたことは、このうえなく光栄に存じます。優れた築瀬議長のもと、本評議員会が公正に、しかも円滑に運営されますよう、微力ではございますが議長をサポートしてまいりたいと存じております。

誠に簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

○議長（築瀬武史君） 大島副議長、ありがとうございました。

○挨拶

○議長（築瀬武史君） それでは、日程に戻りまして、会議を進めさせていただきます。

「日程 4. 挨拶」に入らせていただきます。

初めに、住友雅人会長、ご挨拶をお願いいたします。

○住友会長 令和 5 年 6 月 16 日の日本歯科医師会の新執行部の第 1 回理事会で、私、住友が今期の日本歯科医学会会長として承認されました。日本歯科医師会会長、高橋英登先生から学会会長の委嘱状をいただき、7 月 1 日から 6 期目の日本歯科医学会の事業活動を始めております。

日本歯科医学会は、日本歯科医師会の内部組織の位置づけにあります。そこで、その役

割は、日本歯科医師会活動に資することが求められております。ただし、これまでの学会活動の実績から、独自性も許されております。具体的には、日本歯科医師会が活性化するための効果的な支援策を提供するということでございます。特に、学術的根拠の提供は重要でございます。その成果が国民の健康寿命延伸に貢献するのでございます。

2016年に法人格を有する一般社団法人日本歯科医学会連合が設立されて、事業の仕分けが進んでまいりました。したがって、日本歯科医学会が何をすればよいかクリアになっているとも言えます。そこで、事業内容を整理しました。特に臨時委員会は、あたり前のことですが必要に応じて設置し、目的が達成されれば解散になります。定例業務以外の臨時委員会は、今期の執行部の強い意思を示しております。既にスタートしている委員会もあります。その内容の一部は、本日の学会会長報告で紹介します。

連続6期目の会長として、皆様方の活動が歯科界活性化につながるような場を設けてまいります。2年後の成果を喜びという形で共有いたしましょう。

以上を今期最初の評議員会挨拶といたします。ありがとうございました。(拍手)

○議長(築瀬武史君) 住友会長、ありがとうございました。

続きまして、日本歯科医師会会長・高橋英登先生にご挨拶をいただきたいと存じます。それでは、高橋会長、ご挨拶をお願い申し上げます。

○高橋日本歯科医師会会長 ただいまご紹介を賜りました、日本歯科医師会の高橋でございます。去る6月15日、第200回日本歯科医師会定時代議員会において会長就任を認めていただきまして、3カ月半、今いろいろ住友先生にご教授をいただきながら頑張っているところでございます。

我々の基本的な考え方は、やはり日本歯科医師会は学術団体であるということに帰するものと思っております。学術的なレベルを上げて、それが国民の優良な歯科医療につながる。それが我々にとっての基本のキだと思っております。そういう点からも、もっともっと日本歯科医学会と連携を強めて、先生方のご意見をお聞きしながら、会員の学術的レベルを上げるということを目指してまいりたいと思っております。

私の父親が明治37年生まれでございます。今、住友会長からメモをいただきました。日本歯科医学会、創立120周年でございます。日本歯科医師会とほぼ同時進行というか、そういう伝統のある日本歯科医学会。今、我々、実はいろいろな諸問題の中で、非常に頭が痛い問題の一つとして、高次の有病者を診ていただける機関が非常に少なくなっている状況が如実に現れております。住友会長が、いわゆる1.5次歯科医療機関というか、我々

一般の開業医が手に負えない患者さんをどうにか担っていただけるよう、そういう組織体をつくっていくとか、それもこれから日本歯科医師会、日本歯科医学会の連動・連結によってでき得ることだと思っております。

そして、2025年9月26日、27日、28日、川口先生が頑張ってください、我々にとって本当に大きな大きなイベントでございます学術大会でございます。歯科のイノベーションによって新たな新時代をもたらす、創生をするという壮大な、我々にとって同じ目標を持つての学術大会でございます。全面的にバックアップをさせていただいて、そして、これは日本歯科医学会だけのイベントではないと、歯科界全体が取り組むイベントであるという認識を持って進んでまいりつもりでございますので、これからはいろいろご教授をいただいて、いい歯科界を創生するために頑張ってください、お力添えをよろしくお願いいたします。

本当に今日はありがとうございました。(拍手)

○議長（築瀬武史君） 高橋会長、ありがとうございました。なお、高橋先生におかれましては、公務ご多忙のため、これをもちましてご退室なさいます。高橋会長、お忙しいところありがとうございました。

○高橋日本歯科医師会会長 すみません。失礼します。ありがとうございました。

○役員紹介

○議長（築瀬武史君） 続きまして、「日程5. 役員紹介」に入りたいと存じます。

執行部、よろしくお願い申し上げます。

○天野総務理事 それでは、総務理事、天野よりご紹介させていただきたいと思っております。配付資料の2ページでございますように、新しい役員の名簿が出ております。名簿順にご紹介させていただきます。ご紹介された先生方は、一言自己紹介をよろしくお願いいたします。

まず、会長、住友雅人先生。

○住友会長 後ほど新しく取り組んでいます委員会の説明をさせていただきます。そのときに、どういう方向性を我々が求めているかということをお示しできると思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○天野総務理事 副会長、小林隆太郎先生。

○小林副会長 小林でございます。前回の執行部のときは総務理事として運営に携わって

まいりましたが、今回7月より副会長ということで、これまでの保険収載、それから様々な学会の活動に関し、より活発に活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○天野総務理事 副会長、川口陽子先生。

○川口副会長 副会長の川口です。よろしくお願いいたします。

○天野総務理事 続きまして、総務理事の天野敦雄でございます。小林先生の後を受けてお役を引き受けております。よろしくお願いいたします。

常任理事、末瀬一彦先生。ご欠席でございます。

続きまして、常任理事、松尾 健先生。

○松尾常任理事 常任理事の松尾でございます。会計を担当しております。よろしくお願いいたします。

○天野総務理事 続きまして、常任理事、宇尾基弘先生、お願いいたします。

○宇尾常任理事 常任理事を仰せつかりました、東京医科歯科大学の宇尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○天野総務理事 常任理事、小峰 太先生。ご欠席でございます。

では、続きまして、常任理事、宇田川信之先生。

○宇田川常任理事 歯科基礎医学会から出ております宇田川です。松本歯科大学です。よろしくお願い致します。

○天野総務理事 常任理事、林 美加子先生。

○林常任理事 大阪大学の林でございます。現在、日本歯科保存学会の理事長を拝命しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○天野総務理事 常任理事、桐田忠昭先生。

○桐田常任理事 日本口腔外科学会の桐田でございます。奈良県立医科大学に所属をしております。どうかよろしくお願いいたします。

○天野総務理事 常任理事、新谷誠康先生。

○新谷常任理事 日本小児歯科学会の理事長を拝命しております新谷誠康と申します。東京歯科大学の所属となっております。よろしくお願いいたします。

○天野総務理事 常任理事、沼部幸博先生。

○沼部常任理事 日本歯周病学会から出ております、日本歯科大学生命歯学部沼部幸博と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

- 天野総務理事 常任理事、水口俊介先生。
- 水口常任理事 日本老年歯科医学会の理事長を拝命しております、東京医科歯科大学の水口俊介と申します。よろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 常任理事、秋山仁志先生。
- 秋山常任理事 日本歯科医学教育学会の理事長を拝命しております秋山仁志と申します。所属は日本歯科大学です。よろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 常任理事、細川隆司先生。いらっしゃいませんか。
続きまして、理事の佐藤真奈美先生は本日ご欠席でございます。
理事、窪木拓男先生。
- 窪木理事 日本補綴歯科学会の窪木でございます。所属は岡山大学でございます。よろしくお願います。
- 天野総務理事 理事、齋藤 功先生。
- 齋藤理事 日本矯正歯科学会の理事長を務めております、新潟大学所属の齋藤 功でございます。今期もどうぞよろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 理事、三宅達郎先生。
- 三宅理事 理事を拝命いたしました三宅でございます。所属学会は日本口腔衛生学会、所属大学は大阪歯科大学でございます。少しでもお役に立てるよう一生懸命頑張っております。よろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 理事、都留寛治先生。
- 都留理事 福岡歯科大学の都留と申します。日本歯科理工学会です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 理事、金田 隆先生。
- 金田理事 日本歯科放射線学会理事長をしております金田でございます。所属は日本大学松戸歯学部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 理事、飯島毅彦先生。
- 飯島理事 日本歯科麻酔学会の理事長を務めております飯島と申します。所属は昭和大学です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 天野総務理事 理事、渋谷 鑛先生。
- 渋谷理事 日本歯科医史学会の理事長をしております渋谷でございます。今期もまたよろしくお願いいたします。

○天野総務理事 理事、尾崎哲則先生。尾崎先生はいらっしゃいませんか。

続きまして、理事、松野智宣先生。

○松野理事 日本歯科薬物療法学会理事長の松野でございます。所属は日本歯科大学の附属病院です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○天野総務理事 理事、小笠原 正先生。

○小笠原理事 日本障害者歯科学会理事長の小笠原です。所属は静岡市のよこすな歯科です。よろしくお願ひします。

○天野総務理事 理事、依田哲也先生。

○依田理事 日本顎関節学会理事長、東京医科歯科大学の依田でございます。どうぞよろしくお願ひします。

○天野総務理事 理事、豊澤 悟先生。

○豊澤理事 日本臨床口腔病理学会の理事長を拝命しております豊澤です。大阪大学の所属です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○天野総務理事 理事、坪田有史先生。

○坪田理事 日本接着歯学会理事長を拝命しております坪田です。東京都で開業しております。よろしくお願ひします。

○天野総務理事 理事、柴 秀樹先生。

○柴理事 日本歯内療法学会の柴 秀樹です。広島大学に所属しています。どうぞよろしくお願ひいたします。

○天野総務理事 理事、横瀬敏志先生。

○横瀬理事 日本レーザー歯学会の理事長を拝命しております横瀬敏志です。所属は明海大学です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○天野総務理事 理事、安井利一先生。安井先生はいらっしゃいませんか。

では、続きまして、理事、坂下英明先生。

○坂下理事 日本有病者歯科医療学会理事長の坂下です。我孫子成仁会病院の口腔外科センター長として今勤務しております。よろしくお願ひします。

○天野総務理事 ありがとうございます。

最後に、役員ではございませんが、日本学術会議からご参加いただいております市川哲雄先生。市川先生、いらっしゃいませんか。

○市川日本学術会議歯学委員会委員長 所属は徳島大学です。よろしくお願ひいたします。

○天野総務理事 それでは、以上でございます。ありがとうございました。

○議長（築瀬武史君） ありがとうございます。

○報告

○議長（築瀬武史君） それでは、「日程 6. 報告」に入りたいと存じます。

(1) 一般会務報告を、天野総務理事、お願い申し上げます。

○天野総務理事 それでは、皆さんお手元にあります会議資料をご覧いただきたいと思えます。

12 ページになります。資料 1、学会関係報告ということで、概要をお話ししていきます。今年 7 月 1 日から 9 月 19 日までの学会関係の行事のご報告であります。資料にありますように、7 月 4 日、14 日、25 日、8 月 22 日に会議が行われておりました。7 月 4 日は第 1 回理事会、14 日は第 25 回日本歯科医学会学術大会関係者との打合せです。25 日は第 1 回四役協議会、8 月 22 日は第 2 回四役協議会を開催しております。

次のページに移りまして、8 月 23 日は第 1 回英文雑誌編集委員会、8 月 31 日は第 1 回歯科学術用語委員会を開催しております。同日には、第 1 回研究倫理審査委員会も開催されております。9 月 11 日、第 1 回学会誌編集委員会が行われました。9 月 12 日には第 1 回重点研究委員会が開催されております。

続きまして、資料 1②をご覧ください。14 ページです。こちらには日本歯科医学会の役員業務分担の一覧が表記されております。こちらにありますように、副会長、総務理事、常任理事、また理事の先生方、それぞれに業務をお願いすることになっておりますので、よろしくお願いいたします。

次のページ、15 ページをご覧ください。資料 1③です。こちらは、日本歯科医学会の本年度の諸会議の開催日程が記載されております。本日が 9 月 27 日でございます。先生方、手帳にしっかりと記帳をお願いいたしたいと思えます。

以上です。

○議長（築瀬武史君） 天野先生、ありがとうございました。

続きまして、(2) 第 25 回日本歯科医学会学術大会報告を、川口副会長よりお願い申し上げます。

○川口副会長 資料の 16 ページをご覧ください。8 月 30 日に第 1 回常任委員会がありまして、第 25 回日本歯科医学会学術大会の計画概要が決まりました。

メインテーマとしては、「歯科イノベーションによる新時代の創生」、英語では「New Era Creation through Dental Innovation」です。主催は日本歯科医師会と日本歯科医学会。後援の予定ですが、文部科学省、厚生労働省、日本学術会議、神奈川県、横浜市。また、協力は関東地区歯科医師会および東京都歯科医師会を予定しております。会期は、2年後になります。ちょうど今日は27日ですが、2025年の9月26、27、28日の3日間。そして、その後約1カ月間、10月末まで約1カ月間のオンデマンド配信を予定しております。3日間の会場は、パシフィコ横浜で行う予定です。いろいろな行事を計画しております。そして、日本デンタルショーも今回は併催として行う予定です。

シンボルマークが決まりました。ちょっとかわいい、ちょっと幼稚な歯の絵、舌を出していますが、そのコンセプトとしては、歯科医学の今後の革新が創り出す新しい社会、新しい世界を、わかりやすい表現でマーク化してあります。社会や世界を地球で表し、その中に誰もが歯科医学・歯科医療を想起する歯のイラストを配置し、周囲の輝き、黄色い輝きの部分は新時代が素晴らしいものになることを示しています。健康で笑顔の白い歯には、口腔機能を代表するものとして舌も描いてあります。それから、下にJADS、日本歯科医学会の英語名ですが、そのDのDentalの中の色が歯のイラストの舌のピンクと同じなのは、歯科というのは歯・歯肉だけでなく口腔機能、舌を口腔機能を代表するものとして表しております。メインカラーは美しい濃い青、ウルトラマリンブルーとし、それは新時代の美しい地球の色、そして開催地横浜の美しい海、美しい空をも表しています。私は横浜出身でおりますので、ぜひ横浜にいらしていただきたいと考えております。

そして、次のページ、17ページに準備委員会で作成しました趣意書でございます。ぜひ読んで、ここの中にも書いておりますが、本大会では3万人以上の参加者を期待しておりますので、ぜひ先生方にはご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でご報告は終わりです。ありがとうございました。

○議長（築瀬武史君） 川口先生、ありがとうございました。

続きまして、(3) 会計現況報告を、松尾常任理事よりお願いいたします。

○松尾常任理事 それでは、18ページへお進みください。学会会計の収支計算書でございます。本年4月1日から7月31日まで、4カ月間の現況報告となります。

まず、事業活動収支の部でございますが、全体で1億804万5,640円の収入額でございます。内訳は、他会計からの繰入金収入が1億804万3,000円、雑収入が2,640円となっております。

次に、下段の事業活動支出にまいりますが、事業活動支出全体では2,002万7,777円の支出でございます。

内訳を見ていきますと、まず(1)の事業費支出が全体で1,257万7,777円、その内訳は英文雑誌関係費支出が18万9,330円、それから学術研究関係費支出が1,000万円、調査関係費支出が20万2,720円、内外渉外費支出が18万円、あと下のほうになります。会議費支出が105万1,672円、事務費の支出が95万4,055円でございます。

それから、他会計への繰入金支出が745万円となっております。総額2,000万円余は執行率としまして17.7%でございます。

次に、19ページへお進みください。令和5年度第25回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書でございます。これも同じく本年4月1日から7月31日までの現況でございます。

まず、事業活動収支の部の収入のほうですけれども、他会計からの繰入金収入等が745万円です。先ほど説明いたしました一般会計の中にありましたものと同額でございます。

それから、支出につきましては、大会準備費支出としまして3万4,260円を支出しております。

現在までの執行率が0.5%となっております。

以上でございます。

○議長（築瀬武史君） 松尾先生、ありがとうございました。

続きまして(4)会長報告を、住友会長にお願いしたいと存じます。

○住友会長 画面共有、3枚のスライドでお示しいたします。

これは、私がよく使っています日本歯科医学会の事業体系図でございます。今回6期目でございます。何がよくわかったかといいますと、今までやっていた委員会の構成でございます。

多くの委員会を常置委員会の中に持ってまいりました。これは、方向性としてこういう形のを進めていけばいいというある一定の決まりがございます。それをいかにブラッシュアップしていくかということに尽きます。

そして、先ほどからお話ししてございますように、学会顕彰とか選挙管理は別としまして、例えば左から3番目にあります歯科診療ガイドラインライブラリ協議会、ここでは歯科診療ガイドラインというものにもっと積極的に加わってほしい、これが日本歯科医師会との一つのお約束でもございます。

それから、新歯科医療提供推進委員会。これは、先ほど高橋会長もお話しされていましたが、いわゆる 1.5 次診療、多機能歯科診療所構想の推進をここで行うということでございます。これは今後、日本歯科医学会から、近いうちに日本歯科医師会のほうにその検討をお願いすることになろうと思います。

それから、今までありました学会未来構想というのがブルーになっていますが、そこに網かけていますが、線で消去しております。学会のあり方検討協議会というので、今後学会はどうすればいいかというお話を前期でやっておりましたけれども、一応その方向性が見えました。そして、現在の日本歯科医師会との話し合いのもとにどういうことをしっかりやればいいのかということでございますので、何か必要があれば学会未来構想の学会のあり方検討協議会も設けることがあります。現時点ではクローズにしております。

それから、歯科医療技術革新推進協議会は、今年の 12 月に産業ビジョンという形で発出しました。これは 5 年ごとに作成して、そして世に示すわけですけれども、今期はまだ手をつける必要がない。といいますか、それよりも重点研究委員会で世に示しております歯科イノベーションロードマップの具現化について検討するほうが先であるということ。5 年先の成果はまた後で考えればよいと考えております。

それから、教育研究関連でございますが、学術講演委員会はよほどのことがないと開催しないことになっていまして、今いろいろなところで求められている、また働き方改革等もでございますが、コンプライアンス調査・普及委員会、これを早く仕上げて、そして各医育機関、歯科大学、それから歯科衛生士等も含めて、そういう施設でコンプライアンスのレベルを上げて世に示すということを考えております。

このベースをもとにして、次の資料をお願いいたします。これが今、学会誌編集委員会から利益相反委員会までございますが、ここに各委員数、それから委員長、副委員長、委員の方々のお名前を、これは色違いにしているのはいけないのではないかという意見もございましたが、現在この方々、女性の方は一応青字で示させていただきましたが、この日本歯科医学会においても女性の方々に活躍していただきたい。下のほうには担当事務職も書いてございますが、ここが約 70 名の委員がおります。

そして、臨時委員会を開けてください。ここにも、多くの方々の協力によってこれらの事業を推進してまいります。

それで、今、ご覧いただきました一つの枠は単に一つの枠であって、そこにはこれだけ多くの方々が、各分科会の人たちからの情報を得ながら、日本歯科医学会は新しい分野に

取り組んでまいります。特に重点研究委員会のこのイノベーションの推進、それから先ほどお話ししましたように新歯科医療、地域支援型の多機能の歯科診療所システムについて、それから、原点に戻ってコンプライアンスのレベルを歯科の卒前教育からしっかりと植えていくという、そういうカリキュラムの構成を今回の臨時委員会としております。ですから、この臨時委員会は2年後に仕上がるものだけではなくて、その短い期間に仕上げるものもあります。それは臨機応変にやってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

これは、ここまでこういう形で整理ができたのは、一般社団法人日本歯科医学会連合が何をするかということがかなり鮮明になりました。それに呼応して日本歯科医学会もどういふことを今後進めていけばいいかという、ここの仕分けがしっかりとできてきつつあります。もうしばらくすると、そこがクリアになるときもあろうかと思えます。皆様方のご協力を引き続きよろしく願い申し上げます。

ありがとうございました。

○議長（築瀬武史君） 住友会長、ありがとうございました。

続きまして、(5) 日本学術会議報告ですが、本日、日本学術会議歯学委員会委員長の市川哲雄先生がご出席ですので、ここで市川先生より、日本学術会議のご報告をいただきます。市川先生、お願い申し上げます。

○市川日本学術会議歯学委員会委員長 歯学委員会委員長の市川でございます。

資料4をご覧ください。本年の6月以降の日本学術会議の活動報告をあげております。

その中で、日本歯科医学会に大変ご協力をいただきました「コロナ禍における口腔に関連した諸問題とその対応」ですけれども、やっとこれは承認が得られました。それから、同じく「歯学・口腔科学分野の課題と展望」も承認を受けました。

それから、西村会員にご尽力いただきました、未来の学術振興構想も、昨日公表になって、「健康・幸福寿命の延伸に資するスマート歯科医学・歯科医療の実現」が取り入れられております。これは、日本学術会議のホームページから閲覧できると思います。

私の任期はこの9月末で終わります。3年間本当にありがとうございました。第26期は、10月から村上伸也大阪大学教授を世話人として新たに組織されます。今後ともご支援、ご協力をよろしく願いをいたします。本当にありがとうございました。

以上です。

○議長（築瀬武史君） 市川先生、ありがとうございました。

続きまして、その他の報告事項について、執行部よりご報告をお願い申し上げます。

○天野総務理事 総務理事、天野からご報告いたします。その他の報告事項はございません。

○議長（築瀬武史君） ありがとうございます。

それでは、ここで、これまでの報告に対するご質問をお受けいたします。なお、ご質問のおありの評議員の先生方は、パソコンのミュートを解除して、議席番号と氏名を告げて、議長の許可を得てからご発言ください。そのご発言の後にはまたミュートを再設定していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

ご質問のおありの評議員の先生はいらっしゃいますでしょうか。

ご質問がないようですので、以上をもちまして「日程 6. 報告」は終了いたしました。

○協議

○議長（築瀬武史君） 続きまして、これより「日程 8. 協議」に入ります。

(1) 学会会務運営について。今回、日本歯科医学会への質問および要望等について各評議員へ事前質問をお受けしたところ、質問はございませんでした。しかしながら、その他ご質問ございましたら、この場でお受けいたします。ご質問のおありの先生は、ミュートを解除の上、議席番号と氏名を告げて、議長の許可を得てからご発言いただきますようお願い申し上げます。

評議員の先生方でご質問おありの先生はいらっしゃいますでしょうか。

ご質問ないようですので、次に進めさせていただきます。

それでは、(2) その他ですが、執行部からのご提案はありますか。

○天野総務理事 総務理事、天野です。執行部からの提案はございません。

○議長（築瀬武史君） ありがとうございます。

では、次に、評議員の皆様方からのご提案、ご意見等はございますでしょうか。おありの先生は、ミュートを解除して、議席番号、お名前をお伝えください。

特にご提案、ご意見はないようですので、これをもって協議を終了いたします。

以上をもちまして、第 111 回臨時評議員会の全日程の審議はすべて終了いたしました。

会議の議事運営に皆様のご協力とご理解を賜り、円滑なる議事の進行が図れましたことを深く感謝申し上げます。

○閉会の辞

○議長（築瀬武史君） それでは、閉会の辞を川口副会長、お願い申し上げます。

○川口副会長 本日はお忙しいところ、第 111 回臨時評議員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。予定より早く議事進行が進みまして、ご協力に感謝申し上げます。

9 月末になりまして、朝晩はようやく涼しくなりましたが、まだ昼間は夏のような暑さです。これから 10 月、11 月と、学会シーズンに入りまして、先生方は、分科会の総会・学術大会、または、歯科医師会の行事等でお忙しいことと思います。これから先生方には約 2 年間にわたりまして日本歯科医学会の会務運営にいろいろご協力いただくことになると思います。よろしくお願いたします。

それでは、これをもちまして閉会の辞とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

午後 3 時 02 分閉会

第 111 回臨時評議員会

議 長 築 瀬 武 史 ⑩

副 議 長 大 島 勇 人 ⑩

議事録署名人 上 野 俊 明 ⑩

同 北 村 晃 ⑩